

## 令和4年度 保険診療委員会 活動報告

令和4年度下半期 保険診療委員会活動報告

担当理事：小川千登世

担当副理事：富澤大輔

委員長：後藤裕明

### I. 小児がんのドラッグラグ緩和に関する要望書（2022年10月）

日本小児血液・がん学会理事長、日本小児がん研究グループ理事長、国立成育医療研究センター理事長、日本癌学会理事長の連名による厚生労働大臣への要望書提出にあたり、要望書の内容、候補医薬品リストについて検討を行った。医薬品リストについては、2022年1月に日本医師会治験推進センターに提出したAMED臨床研究「治験・臨床研究を機動的かつ円滑に実施するためのサポート機能に関する研究」の開発候補医薬品リストを使用することを提案した。

### II. 「カプラシズマブ製剤の在宅自己注射指導管理料算定対象薬剤への追加」要望書

上記要望書を学会から提出することについてメール審議を行い、委員会として提出を承認。サノフィ社からカブリビ PMS への協力依頼あり、JPHO ニュースに依頼文を掲載した。

### III. 2024年度診療報酬提案書

学会員向け意向調査を2022年10月24日～11月14日に行い、以下の3件の提案があった。これらのうち、3については、日本血液学会にも同じ提案が提出され、協議の結果、本学会からの提案は取り下げることになった。

1. がんゲノムプロファイリング検査（出来高算定）
2. ブリナツモマブの在宅での投与関連（携帯型精密輸液ポンプ加算、在宅悪性腫瘍等患者指導管理料）
3. フルダラビンの非悪性疾患に対する同種造血幹細胞移植の前治療への適応拡大

以下の提案については、本学会が共同提案学会となることになった。

1. 殺菌能検査（未収載）、グロブリンクラス別ウイルス抗体価ヒトパルボウイルス B19（既収載）；日本小児感染症学会
2. がん患者妊孕性相談指導料；日本緩和医療学会
3. 血液製剤院内分割加算・輸血管管理料 III；日本輸血・細胞治療学会

### IV. PCR-MRD 検査施設認定の更新審査

2022年12月までに提出された更新申請について審議を行い、4施設の更新を承認。このうち SRL 社からは測定施設の名称変更について申請があり、これを承認した。

### V. 日本医師会疑義解釈委員会から供給停止予定品目の確認依頼

2022年12月、2023年1月に供給停止予定品目リストが提出され、内容について審議を行い、予定品目に対する異議申し立ては行わなかった。

## **VI. AMED 医薬品等規制調和・評価研究事業「小児医薬品の早期実用化に資するレギュラトリーサイエンス研究」**

2023 年 1 月 27 日開催、小児関連学会情報交換会において小児血液・がんに関連する「現在医師主導治験を実施中もしくは実施を計画している医薬品・医療機器」「医療上の必要性の高い未承認薬適応外薬検討会議」へ要望提出した医薬品のその後の経緯」などについて報告資料を提出。

## **VII. ロイコボリン注供給停止について**

ファイザー社海外製造所における製造遅延の報告を受けて、学会 ML にて周知を行った（2023 年 2 月第 1 報、3 月第 2 報・第 3 報）。

厚生労働大臣あてに見解書（ロイコボリン注の用法・用量に関して）、要望書（メソトレキサート・ロイコボリン療法にロイコボリン錠、レボホリナートを使用することを診療報酬請求において認めること）を学会理事長から提出するにあたり、内容の審議を行った。

## **VIII. オルガラン製剤の販売中止**

ネオクリティケア製薬株式会社からの供給停止について協議のうえ、追認した（2023 年 2 月）。

## **IX. 未承認薬・適応外薬の要望**

日本血液学会による、AIHA に対するリツキシマブの適応拡大要望において国内関連学会として共同提案（2023 年 2 月）。